

横浜カジノ反対署名を ドヤ街寿町で集めています!

NO CASINO IN YOKOHAMA, JAPAN!

日本に、横浜に、カジノが作られていいのでしょうか?!
パブリックコメントでは、9割以上がカジノに反対しています。
胴元の外国企業だけ儲け、地域は荒み、貧しい人が食べ物にされ、
ギャンブル依存の人が増えるのが、誰のためになるのでしょうか?
貧困や病気や障がいや、様々な依存を抱えて生きている住民と、
介護福祉医療やボランティアの人が共に暮らすドヤ街寿町から、
カジノ誘致廃止、ギャンブル施設増やさず、依存症予防施策と、
生活弱者への介護・福祉・医療充実を求める署名を集めています!



KOTOBUKI ANTI-CASINO ACTION

(横浜へのカジノ誘致に反対する寿町
介護福祉医療関係者と市民の会)(KACA)

事務局:ことぶき共同診療所〒231-0025 横浜市中区松
影町 2-7-17 リバーハイツ石川町 1階 電話 090-2445-3757

紙の署名は裏にあります

電子署名は、Change.org サイトの「横浜にカジノはいらない!
ギャンブル依存と貧困を防ぎ、介護・福祉・医療こそ
充実を!」になります! ご協力よろしくお願ひします!

カジノ I R (賭博場関連施設) 誘致をやめ、ギャンブル関連施設を増やさず、ギャンブル依存の予防や当事者・家族支援と、生活困難者・貧困者・病者・障がい者・高齢者・子育て世帯等の生活弱者への介護・福祉・医療施策に、予算を充てることを求めます。

国民多数が反対したカジノ I R法 (統合型リゾート法) が成立し、横浜を含め全国 3 ヲ所に造られようとしています。統合型リゾートと称しますが、収入源は専らカジノ (賭博場) のギャンブルで、他施設はカジノに誘導するコンプレックス (囲い込み) です。カジノは胴元だけ儲かり客からも地域からも奪うだけで発展に寄与せず、カジノ企業もついに破綻産業として偏りがあります。米国内が飽和しアジアに進出し成功したカジノ大企業が米大統領支援者で、首相に誘致を求めましたが、アジア各国でもカジノ周辺地域は米国内同様に荒廃してきています。ギャンブル依存が増え生活破綻する当事者や家族が増え、地域は貧困化し犯罪も増えることが実証されています。外国人客対象と述べますが、アジア諸国が巨大カジノで競い合い、狭い日本のカジノには来ず、試算も日本人客が大半と明かしています。全国のテーマパーク破綻を見ても、カジノ I Rが持続可能で発展的であるとは思えません。米カジノ企業に請われカジノに土地を割譲し、日本人客をギャンブル依存症にし、地域発展なく胴元企業のみ儲けさせるのでは、辺野古基地問題と同様に植民地そのものです。

日本には既に公営ギャンブル (競馬・競艇・競輪・オートレースに宝くじ・トト) が存在し、何より準国策ギャンブルでありギャンブル依存を専ら生み出しているパチンコ・スロットがありますが、本来刑法 185 条・186 条に反する犯罪であり、憲法 27 条に反する最高裁判例もあります。この上に新たなギャンブル施設を市の肝煎りで作る必要はありません。むしろギャンブル依存を生み出す賭博関連施設を減らすべきです。

「横浜市中間 4 か年計画 2010～2021」(原案) に対するパブリックコメントでは、9 割以上の人がカジノ I R誘致計画に反対しています。

私達は、貧しい人々がギャンブル依存に陥り苦しみ、仕事も家族も友人も失い、野宿し路上死にまで至る姿を見ています。生活が破綻しないよう日々支えています。カジノが誘致されれば、ギャンブル依存の状態になる人が増えることは間違いなく、許すことはできません。

カジノ I Rを誘致せず、その予算を、ギャンブル依存の予防や当事者・家族支援の施策に充て、また生活困難者・貧困者・病者・障がい者・高齢者・子育て世帯等の生活弱者への介護・福祉・医療施策に充てることを求めます。

<陳情項目>

1. 横浜市はカジノ I R誘致をやめること。
2. ギャンブル関連施設を増やさず、ギャンブル依存症の予防や当事者・家族支援の施策をとること。
3. 生活困難者・貧困者・病者・障がい者・高齢者・子育て世帯等の生活弱者への介護・福祉・医療施策をとること。

名 前	住 所

〒231-0025 横浜市中区松影町 2-7-1 リバーハイツ石川町 1 階 ことぶき共同診療所内
 KOTOBUKI ANTI - CASINO ACTION (KACA)
 (横浜へのカジノ誘致に反対する寿町介護福祉医療関係者と市民の会) 電話 090-2445-3757
 <取り扱い団体>